

公表 児童発達支援

事業所における自己評価総括表

○事業所名	向日葵（ひまわり）		
○保護者評価実施期間	2026年1月6日		～ 2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	2026年1月6日		～ 2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに寄り添った療育ができています	少人数での療育なので、個々の課題・苦手箇所に対応できています。	研修やミーティングの回数を増やし、児童の状況変化も職員間でこまめに共有していく。
2	外出体験が豊富	公園や交流施設、博物館等の利用が多い。様々な刺激や体験を通してマナーや知識を身につけていく。	利用できる施設を増やす。児童の成長発達に合わせ、活動内容・範囲を広げていく。
3	3学年程の範囲で異年齢の交流ができています	低年齢の子に対しての言葉かけや思いやりの気持ちを持つことができる。自信を持てたり、責任感も高める。真似たり、その様子を見ている事で低年齢の児童も意欲が高まる。	

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内の間取りの関係で室内活動では限られた動きになる	危険のないよう、利用児童の様子や人数に応じた活動をおこなっている	危険箇所はクッション材等でガードしているが、日々点検し補強する。改装や移転も検討したい。
2	言語療育の時間が少ない	4月より月に2回から4回に増やす。午前にも言語療育の時間を設け、より多くの利用児童のニーズにこたえる。	言語聴覚士の確保、職員のスキルアップ
3	給食提供の停止	作る場所、人員がない	人員の確保、外部委託も検討

公表 児童発達支援

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		向日葵（ひまわり）				公表日	2026年 3月 27日			
		利用児童数				9名		回収数	8名	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見		ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1				施設内の環境はより安心して過ごせるよう配慮し、戸外活動等で身体を動かせる時間も確保する。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7			1		今後、利用児童の実態変化によっては職員数を速やかに増やす必要がある。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6			1		室内での段差等あるが工夫して活動を行っており、職員がすぐにサポートにいけるよう配慮している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	1				引き続き清潔の保持に努め、より心地よく過ごせるように障がい状況に応じた環境づくりに努める。		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8							
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7			1		適宜、利用児童の実態や状況変化に合わせたプログラムとなっているか確認・見直しを実施する。		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8							
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			1		ガイドラインに基づき、きめ細かく支援が行えるように記載して行っている。家族支援、地域支援においても支援内容を網羅しているが、よりわかりやすい内容に改善していく。		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7			1		支援計画と近々の児童の状況を考えて支援している。随時ミーティングで支援目標等を確認している。		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8							
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1		2		社会資源（公園、地域のイベント等に参加）を活用し交流をもてる機会をより増やしていく。		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8							
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8							
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6			2		個別の相談に対しての助言等は行っているが、現状、研修会等を実施するまでは至っていない。今後、検討を要する。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	8							
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7			1		適宜、事業所内にて保護者からの相談を行っており、専門職の知見を通じて必要な助言等を行っている。		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8							
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7			1		行事では保護者の方に参加してもらっている。もう少し回数を増やしたり関わり連携を支援できる工夫を考えていきたい。		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	7	1							

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1			利用者との意志疎通については、保護者等と相談しながら、適切なコミュニケーションを心がけている。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7		1		個人情報マニュアルに基づき研修をおこない情報の管理を行っている。家族情報や肖像も含め取扱いは十分に留意する。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			2	各種マニュアルを整備し、職員へは会議等を通じて周知している。保護者には来所時に閲覧できるよう準備している。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	5			3	年度計画に基づき訓練を行っている。災害についての訓練の回数を増やし職員の動きの確認をし、周知する。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	8				
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	8				より楽しく通所していただけるように新年度も満足していただける療育を目指します。職員の研修・ミーティングを増やし情報や知識を深め、日々の療育もバージョンアップしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8				
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				

公表 児童発達支援

事業所における自己評価結果

事業所名	向日葵（ひまわり）		公表日		2026年 3月 27日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3	1	戸外活動等を増やし、しっかりと身体をうごかせる時間を確保する	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			研修等にも積極的に参加しやすいよう、さらに職員配置を十分にしたい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		問題のある箇所、心配な箇所は日々確認しながら対応している	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		こまめな清掃、衛生環境を保つよう心がけている	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	2		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部講師を招いての研修等を増やした	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			今後、バージョンアップしたものに改善し公表する
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援計画に沿うように日々のミーティングで支援目標等を確認している	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		日々の利用児童に合わせて随時話し合いを行っている	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		日々の利用児童に合わせて随時話し合いを行っている	

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			行っているが、より細かく打合せができるようにしていきたい
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4				
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4				
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4				
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4				

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4			
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	4		利用者の状況については、初回面談時に保護者から必要な情報を聞き取るとともに、職員にも情報共有を行っている	送迎時や連絡ノートを通じて確認し、職員間で共有する。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		保護者からのアセスメント時において、アレルギー等のヒアリングを行っている。	現状においては医師からの指示書に基づくケースはないので今後そのような場合は関係職員等と対応協議しながら対応する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4			

公表 放課後デイサービス

事業所における自己評価総括表

○事業所名	向日葵（ひまわり）		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 6日		2026年 1月 30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		2026年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 3日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	一人ひとりに寄り添った療育ができています	少人数での療育なので、個々の課題・苦手箇所に対応できています。	研修やミーティングの回数を増やし、児童の状況変化も職員間でこまめに共有していく。
2	外出体験が豊富	公園や交流施設、博物館等の利用が多い。様々な刺激や体験を通してマナーや知識を身につけていく。	利用できる施設を増やす。児童の成長発達に合わせ、活動内容・範囲を広げていく。
3	3学年程の範囲で異年齢の交流ができています	低年齢の子に対しての言葉かけや思いやりの気持ちを持つことができる。自信を持てたり、責任感も高める。真似たり、その様子を見ている事で低年齢の児童も意欲が高まる。	地域や外部との交流を増やすことにより更なる成長を促す

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所内の間取りの関係で室内活動では限られた動きになる	建物の構造上仕方がないが危険のないよう、利用児童の様子や人数に応じた活動をおこなっている	危険箇所はクッション材等でガードしているが、日々点検し補強する。改装や移転も検討したい。
2	言語療育の時間が少ない	4月より月に2回から4回に増やす。午前にも言語療育の時間を設け、より多くの利用児童のニーズにこたえる。	言語聴覚士の確保、職員のスキルアップ
3	給食提供の停止	作る場所、人員がない	人員の確保、外部委託も検討

公表 放課後デイサービス

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	向日葵（ひまわり）					公表日	2026年3月27日		
					利用児童数	3名			
							回収数	3	
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2			1		施設内の環境はより安心して過ごせるよう配慮し、戸外活動等で身体を動かせる時間も確保する。		
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	3							
	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1			子どもにわかりやすく、配慮がいきとどいています	施設の構造によって使いにくい設備については、補強や職員の補助により対応していく。日常的に点検も行う。		
	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3							
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3							
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3							
	7 子どものことを十分に理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3							
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3					ガイドラインに基づき、きめ細かく支援が行えるように記載して行っている。家族支援、地域支援においても支援内容を網羅しているが、よりわかりやすい内容に改善していく。		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3							
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	2	1				利用児童の課題や状況に合わせたプログラムを随時取り入れていく		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	3							
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3							
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3							
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3					ご家族も参加できる研修会の開催を準備		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状態について共通理解ができていると思いますか。	3							
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	3							
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3							
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	3				親子遠足や夏まつり等のイベントにより、家族への支援や交流の機会もある	2026年度も保護者、ご家族の参加できる機会を設ける。日程やイベント内容も参加しやすいよう検討する		
19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	3								

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	3					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3					
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3					
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	3					
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	3					
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	3					より楽しく通所していただけるように新年度も満足していただける療育を目指します。職員の研修・ミーティングを増やし情報や知識を深め、日々の療育もバージョンアップしていきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	3					
	29	事業所の支援に満足していますか。	3					

公表 放課後デイサービス

事業所における自己評価結果

事業所名		向日葵（ひまわり）		公表日		2026年 3月 27日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		戸外活動等を増やし、しっかりと身体をうごかせる時間を確保する		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4			研修等にも積極的に参加しやすいよう、さらに職員配置を十分にしたい	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		問題のある箇所、心配な箇所は日々確認しながら対応している		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		こまめな清掃、衛生環境を保つよう心がけている		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		外部講師を招いての研修等を増やした		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			今後、バージョンアップしたものに改善し公表する	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		支援計画に沿うように日々のミーティングで支援目標等を確認し行っている		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		日々の利用児童に合わせて随時話し合いを行っている		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		日々の利用児童に合わせて随時話し合いを行っている		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			行えているが、より細かく打合せができるようにしていきたい
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	利用者の状況については、初回面談時に保護者から必要な情報を聞き取るとともに、職員にも情報共有を行っている	送迎時や連絡ノートを通じて確認し、職員間で共有する。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	保護者からのアセスメント時において、アレルギー等のヒアリングを行っている。	現状においては医師からの指示書に基づくケースはないので今後そのような場合は関係職員等と対応協議しながら対応する。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				